

資料 2

平成 29 年度「湯梨浜町特定地域選択制」の導入について

教育総務課

1 特定地域選択制の導入について

(1) ねらい

豊かな自然環境や小規模であることの特徴を活かし、自然に触れる中で学ぶ楽しさや心身共に健康で豊かな人間性を培いたいと希望する児童・保護者に、入学及び転入学を認める「湯梨浜町特定地域選択制」を平成 29 年 4 月より開始する。

(2) 経過

- ・ 特定地域選択制導入について協議
(教育委員会及び総合教育会議 平成 28 年 5 月)
- ・ 教職員説明 (各小学校 7 月)
- ・ 町民へ制度の説明 (町長と語る会 7 月)
- ・ P T A 役員、保護者説明会 (各小学校 7 ~ 11 月)
- ・ 特定地域選択制にかかる訓令制定 (教育委員会 11 月)
- ・ 泊小学校見学会 (2 回実施、7 家族参加 11 月)
- ・ 制度申込 (6 名申込受付 12 月)
- ・ 制度申込について承認 (教育委員会 1 月)
- ・ 制度利用保護者説明会 (2 月実施予定)

(3) 平成 29 年度制度利用児童

- ・ 6 名 (新 1 年生 1 名、新 2 年生 3 名、新 4 年生 1 名、新 5 年生 1 名)

(4) 通学方法

- ・ 社会福祉協議会所有コンピューター (14 人乗りミニバス) 利用による、羽合地区からの送迎を検討
- ・ バス乗車は、自宅近くのバス停を想定

(5) その他

- ・ 特定地域選択制利用児童も在住地域の行事に参加できるなど、地域の子どもとして見守り育てていただくようお願いしたい。
- ・ 所属子ども会は、各家庭の実情に合わせた所属となるよう配慮する。

2 泊小学校の教育について

泊小学校では恵まれた教育環境の中で、少人数を活かした一人一人の児童の力を伸ばす教育を進めている。また、漁業、農業、伝統芸能、グラウンド・ゴルフなどを通して地域の方と関わり、ふるさとに誇りを持たせる独自の教育カリキュラムを編成している。

教科学習では、「わかる授業の創造と確かな学力の育成」を目指し、算数科を中心とした授業研究に取り組んでいる。平成29年度は中部小学校教育研究会の研究発表校となっており、11月に授業研究会を開催する予定である。また、平成32年度からの小学校英語教科化に先駆け、平成29年度から高学年で外国語学習時間を増加し、中学年での国際交流活動の充実を図る。

(1) 教育目標

豊かな心と確かな学力を持ち、ふるさとを誇りに思い、未来を切り拓き、たくましく生きる児童の育成

(2) 恵まれた教育環境

- 緑豊かな学園の森に囲まれた自然環境に立地
- 安全でおもいっきり遊べる広大な芝生の校庭
- 全校児童が一緒にランチルームで給食を食べる自校給食

(3) 特色ある教育活動

- 土曜授業の活用
 - ・水産教室、魚釣り体験（4～6年）
 - ・潮風の丘での「なかよしグラウンド・ゴルフ大会」（全校）
 - ・座禅体験（6年）
 - ・アメリカの文化と英語学習（5年，6年）
 - ・日本の伝統和楽器の鑑賞（3年，4年）
- 総合的な学習と体験活動
 - ・梨づくり（3年）、わかめの栽培（3年）、野菜づくり（全学年）

(4) 努力点と具体的な方策

- ①わかる授業の創造と確かな学力の育成
 - ・ペアやグループで多様な意見を引き出し、話し合う中で理解を深める少人数ならではの授業を進めている。
 - ・教科によってはクラスを2つに分けて少人数指導を行い、一人一人の苦手なところを個別で指導することで、基礎学力の定着を図っている。
 - ・地域のボランティアの方の読み聞かせを毎週行い、図書館の活用を推進するとともに、読書が好きな子を育成している。

②潮風の中でたくましく生きる心と体の育成

- ・「友達を大切にできる言葉」について年間を通じて考える機会を設け、全校集会などを通して言葉の指導を重視している。
- ・毎日の潮風タイム（業間運動）では、マラソンやのびっこ体操など体力の向上に取り組んでいる。
- ・県内でも3校しかない自校給食では、おいしい給食の提供だけでなく、食に関する指導についても充実を図っている。

③ふるさとを誇りに思う児童の育成と開かれた学校づくり

- ・総合的な学習の時間を活用し、体験的な学習活動を積極的に取り入れている。
- ・泊小学校を創設した三枝礼二さんについての教材を開発したり、校区の探検をしたりするなど、学年に応じた地域学習の充実を図っている。

(5) 活動の様子



なかよしグラウンド・ゴルフ大会



水産教室、魚釣り体験



貝がら節保存会による指導



梨の袋かけ

